

## 第2回「将軍家への献上、大名家への贈答 鍋島」

### (1)はじめに 鍋島焼とは？

【鍋島焼】(一般に整理された概念・江戸時代)

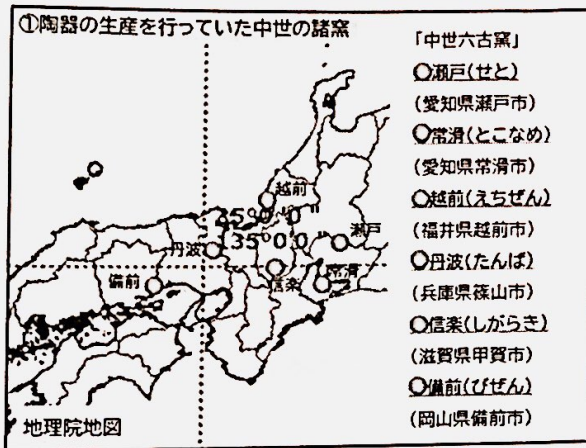
鍋島焼とは、**将軍家への献上・大名家への贈答**のため、鍋島藩がその統制のもとで、藩窯(鍋島藩窯)で作られた焼き物であり、**一般に流通することはなかった**。

【鍋島焼】(一般に整理された概念・現代)

**江戸幕府が終焉を迎えると藩窯もその役割を終えて廃窯された**。現在、今泉今右衛門が復活させた伝統の技術が、今右衛門窯と人間国宝である今泉今右衛門によって受け継がれている。

### (2)肥前磁器の歴史

#### ①「中世六古窯」・・・中世に陶器生産を行った代表的な窯



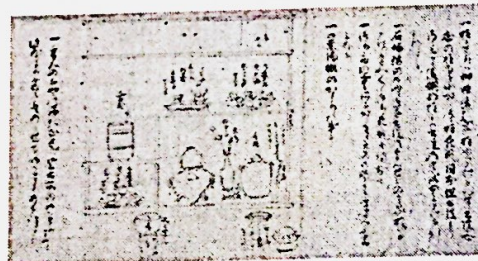
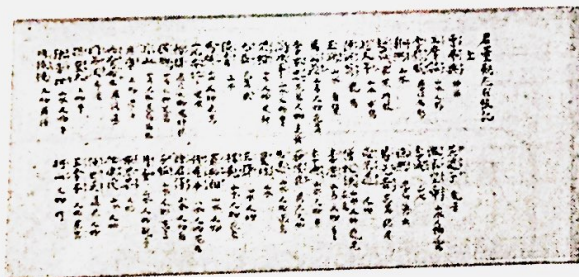
#### ②茶の湯の流行と戦国大名

- 1 茶の伝来と茶の湯の隆盛
- 2 戦国大名たちがもとめた茶の器
  - ・中国／朝鮮／東南アジア

- 3 美意識と価値観の形成【君大観左右帳記】(国立歴史民俗博物館所蔵)

※下記の画像は同館のホームページより

伝統的な美意識の中に、  
反映されているものです。



#### ③江戸時代、磁器の生産に成功した肥前

#### ④肥前磁器の特徴的な様式

**初期伊万里様式、古九谷様式、鍋島様式、柿右衛門様式、古伊万里様式**

#### (3)消費地遺跡出土の鍋島

- ・生産遺跡(窯跡)
- ・流通遺跡(港湾、沈没船など)
- ・消費遺跡(例えば、江戸遺跡)

#### (4)伝統と継承(美術品、伝統工芸品)

- ・今右衛門窯を例に、14代今泉今右衛門

#### (5)DISCUSSION

#### 【第2回 参考文献】

□桑田忠親『古田織部の茶道』講談社学術文庫 \*茶道史について詳しい。

□大橋康二『肥前陶磁』ニューサイエンス社

著者は青山学院大学の先輩。  
名著です。